

第15回東陽地域審議会発言要旨

委 員	事 務 局
住民自治によるまちづくりの推進について	
① 公民館主事とは別に新しく職員を配置するのか。 ② モデル地域の指定についてはどういう形で指定するのか。 ③ 地域というのは校区で1地域ということか。 ④ どれくらいの財政支援があるのか。 ⑤ モデル地域がスタートするのは24年度ですか。	① 新しく職員を配置するということはありません。 ② 住民説明会后10月位に市のほうで総合的に判断し、4地域ほど指定を行い、住民自治推進団体連絡会議にお話をさせていただきたい。一方的にお願いしますというようなことは絶対ないように特段の配慮をします。 ③ 基本的には小学校単位を基礎としているが、最終的には地域の皆さんで判断をしていただくということになります。 ④ 財政支援については、事務局としても精一杯努力をしたい。補助制度そのものの抜本的に見直しを行い、行政が持っていた権限・財源をできるだけ地元地域におろすということを考えている。また、組織運営の経費助成として、向う3年間、組織設置に必要な初期投資として一律のお金を交付した ⑤ モデル地域がスタートするのは24年度、全地域を27年度目標にしていま
八代市過疎地域自律促進計画及び辺地総合計画について	
① 住民自治によるまちづくりに過疎債の活用が最適ではないかと思うが。	① 7月から県との調整に入るので、ソフト事業の中で、国が示している見解に合うようなものであれば早めに計画をお願いします。
第2次八代市地域福祉計画について	
① ケーブルテレビのネットワークを安否確認に利用できないか。	① 今年度から活動計画を作る中での検討課題になるかと思います。
次世代育成プランについて	
① 放課後児童クラブと放課後教室とは同じものか。 ② 放課後児童クラブは東陽では行われているか。 ③ 放課後児童クラブがなくて困っている保護者さんたちがいらっしゃいますが。	① 保護者会・保育所で行っていただいている放課後児童クラブになります。 ② 実施主体が見つかっていない状況です。 ③ 学校を通して保護者会にアンケート調査を実施しましたが希望者が10名に満たずに断念した経緯があります、今後、保護者会でどうしても必要ということで、10名以上の利用者が何年か続いたら、そういう取り組みを考えていきたい。
乗合タクシー事業について	
① 労災病院-種山間の路線バスの各停留所は従来どおりか。 ② 乗合タクシーの発着時刻の周知は行うのか。 ③ 河俣-種山間は1便は減るのか。 ④ 運行を行っていく中で、時間帯変更等の希望があればその辺を変えていくようなことは可能か。 ⑤ 今回の計画により補助金削減はどれくらい見込んでいるのか。 ⑥ 泉で行われた乗合タクシーの社会実験で何か問題点は出てきたか。 ⑦ 料金設定を安くするという事は出来ないか。 ⑧ 予約型運行の場合、途中で拾ってもらうことはできないのか。	① 同じです。 ② チラシを作成し、説明会においてもそれをもとに説明します。 ③ 便数の実態調査を行った結果、設定した3つの条件を満たさなかったため減便ということになります。 ④ 年に1回は見直しを行い、要望・利用実態に応じて、利用者の生活の利便性・経費節減のバランスをとりながらやっていきたい。 ⑤ 目標として、3千万減らしたい。 ⑥ 予約が面倒というご意見をいただいた。1ヶ月分一括しての予約等、予約の仕方も考えなければと思います。高齢者の方々に対するドライバーの接遇も大事だと思います。 ⑦ 交通手段の確保と経費のバランスを踏まえて金額を設定しています。 ⑧ 臨機応変に対応すべきだと思います。
その他	
・特になし	